



GRAMEEN  
NIPPON

一般社団法人 グラミン日本  
第7期 事業報告書  
(2022年10月～2023年9月)

グラミン日本の活動は、  
みなさまのご支援に支えられています。

ご寄付はこちらから

外部寄付サイト・コングラントよりご寄付いただけます。

マンスリーサポーター  
(毎月のご寄付)



今回のご寄付



コングラントのご利用が  
難しい法人様は、  
こちらからお問い合わせください。



GRAMEEN  
NIPPON



公式サイト



法人向けサイト

一般社団法人グラミン日本

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町一丁目8番7号

東信室町ビル4F

TEL 03-3516-2890

# Annual Report 2023





2023年5月に開催した「2022年度活動報告会」のひとコマ。  
グラミン日本スタッフのほか、サポーター企業の方や  
シングルマザーの皆さんが報告会のトークイベントに参加していただきました。

## 日本全国に「応援の輪」を広げたい そのために、私たちは全国の自治体、 起業、支援団体のみなさまとつながります

### contents

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 3 巻頭特集「シングルマザートークイベント」 | 15 企業等との連携紹介   |
| 5 グラミン日本を知る            | 17 ご支援いただいた皆様  |
| 7 支援モデルと実績             | 19 スタッフ紹介・団体概要 |
| 9 Highlights 2022-2023 | 21 財務会計報告      |
| 13 グラミンメンバーの声          |                |



## 日本全国に「応援の輪」を パートナーと共に広げていく

### グラミン日本 理事長 百野 公裕

2023年度、日本経済は新型コロナウイルスの影響から脱してインバウンド需要の回復など、改善の兆しが見えてまいりました。一方でコロナ禍で実施された緊急融資の返済や物価高によって経営体力が小さい中小企業の倒産が増加しており、非正規雇用が多いシングルマザーの雇用環境は変わらず予断を許さない状況です。物価の高騰も彼女たちの生活に大きな影響を与えています。

このような状況の中、2023年度は日本全国に支援の輪を広げるスタートの年となりました。自治体や企業の皆様と連携し、シングルマザーの経済的自立を支える支援活動を強化しています。私たちは「誰もがいきいきと活躍できる社会」を目指し、今後も活動を推進してまいります。

皆様の変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

# シングルマザーに 起業という選択肢を！※



※ このメッセージはグラミン日本がシングルマザーの新しい生き方の一つとして提案するものです。

## 自己紹介

**高橋**：本日は、グラミン日本のマイクロファイナンスで融資を受けて起業を実現された中村さん、黒澤さんの二人をお招きしたトークイベントとなります。まずはお二人の自己紹介からお願いできますでしょうか。

**中村**：こんばんは。私は長崎県在住の中村晃子です。ファスティングや生活アドバイザーとして活動し、酵素ドリンクの販売とカフェ経営も行っていきます。本日はよろしくお願ひします。

**黒澤**：こんばんは。私は群馬県に住む黒澤です。現在、会社員として働きながら、副業でアロマとよもぎ蒸しのサロンを自宅で経営しています。皆様の参考になることがあれば幸いです。本日はよろしくお願ひいたします。



## グラミン日本に参加する前のマインドについて

**高橋**：それでは、中村さんと黒澤さんにお話を伺っていきましょう。グラミン日本に参加する前の状況と、その時の気持ちについて教えていただけますか？まずは中村さんから。

**中村**：自宅での仕事が必要となった母の介護という経験を経て、私は起業を決意しました。起業に関して多くを知らず、毎日不安を感じていました。

**高橋**：やりたいことはあるけれど、どうすればいいのかわからない不安が大きかったですね。黒澤さんはいかがですか？

**黒澤**：はい、私は何かを成し遂げたいと思いつつも、行動に移せない状態でした。現実と理想のギャップにストレスを感じていましたが、現状を変えたいとずっと考えていました。

## グラミン日本に参加したことで得られたもの

**高橋**：当時の黒澤さんから焦りを感じていたのが伝わってきたのを覚えています。次に、グラミン日本への参加によって何を達成することができたか、教えていただけますか？

**中村**：私にとって一番の収穫は、仲間や共感者と出会えたことです。融資のために5人のグループを結成し、お互いにミーティングを行いました。一人では悩んでしまうことも、話し合いの中から気付くこともありましたが、お互いの励ましとて心強かったです。

**高橋**：中村さんのグループはお互いに、本当に心から応援し合っている感じが強いグループでしたね。黒澤さんからも伺いたいと思います。

**黒澤**：私の一番大きな収穫は、自分自身の気持ちの変化です。ミーティングでのディスカッションを通じて、メンバーと一緒に課題に取り組み、またメンバーからのフィードバックも多々もらえるため、非常に価値のある経験でした。5人組での活動が楽しみで、励みになりました。

**高橋**：実際に5人組を形成された皆さんからは仲間の存在が大きかったと伺うことが多いです。グラミン日本のマイクロファイナンスは5人1組のグループで進んでいくことが最大の特徴です。毎月2回のミーティングで、融資返済の確認を行い、進捗状況を話し合ったり、励まし合ったりすることで、支え合いの効果が得られます。また、この5人組は当事者だけでなく、グラミン日本もセンターマネージャーがサポートの形で関与しています。密山さんと山口さんは、センターマネージャーとしてサポートされましたが、5人組の効果をどのように感じられていますか？

**密山**：日本での起業はまだ難しいことが多く、孤独を感じる場合があります。しかし、グラミン日本の5人組はその孤独感を払拭し、安心感を与えてくれる場所だと感じています。また、ビジネスに必要なマインドや新たな視点に気付かせてくれる場所でもあります。

**山口**：私も同感です。安心感と共に、他のメンバーからのアドバイスや新しい視点を受けることが、非常に貴重な経験だと思っています。特に、起業は会社で働く環境とは違って、一人で全てのことをしなければなりません。できない、分からない自分を責めてしまい、負のスパイラルに陥ってしまう時もあります。そんな不安定な状態に陥る前、メンバーに悩みを相談したりすることが非常に良い効果があるのかなと感じています。

また起業に向けた準備が予定より遅れている時でも、メンバーからの励ましや、他のメンバーが自分の悩みを真剣に考えてくれる姿を見ることで、また明日から頑張ろうという希望が湧いてきます。起業を目指す中には不安を抱くこともありますが、不安を希望に変える効果が5人組にはあるかなと思っています。

## 2人の変化について

**高橋**：次はお2人に、ご自身の変化と成長についてお聞きします。

**中村**：起業に必要な知識やマインドを学び、まだまだ足りないことを認識しましたが、完璧でなくてもいいということに気付き、相談することができるようになりました。融資についても自分への投資の一環として考えるようになり、経営者のマインドが芽生え始めたと思います。

**高橋**：センターマネージャーの密山さんから見て、中村さんの変化はどう感じましたか？

**密山**：最初は慌ただしく動いている印象がありましたが、中村さんの明るさと人柄で乗り越えてきたと感じています。

**高橋**：次は黒澤さんから変化について聞かせていただけますか？

**黒澤**：私はグラミン日本に参加する前は、会社員マインドに固執していましたが、起業家としての考え方に気持ちが切り替わりました。また私の行動を見て、子供たちも自分の働き方を選ぶ重要性を理解し、今後の働き方を模索しているようです。以前は自信がなく、融資が決まっても不安がありましたが、ともかくスタートすることで、覚悟を決めて行動することができました。以前の自分では、今の成長を想像できなかったと思います。

**高橋**：黒澤さんの成長には本当に驚きました。当初はバタバタしていましたが、今では余裕が感じられます。山口さんからの視点はどうですか？

**山口**：黒澤さんはやりたいことを明確に持っていましたが、集客や本業の忙しさ、体調不良、コロナなどの困難が立ちだかかっていました。そういった困難な状況でもモニターの募集やオンラインセミナーを実施し、チャレンジし続けた姿勢が印象的です。また家族との時間や関係を大切にされていることも感じます。お子さんが大学生でいる中、チャレンジングなお母さんがそばにいることは素晴らしいことだと思います。応援しています！



## 起業やフリーランスという選択肢について

**高橋**：「起業やフリーランス」は、これからの女性、特にシングルマザーにとっても新しい選択肢の一つだとグラミン日本では考えていますが、お二人はこの選択肢についてどのように考えられていますか？

**中村**：子供との時間を大切にできるようにするためにも、起業に対する不安はあるかもしれませんが、まずは副業からでもいいので、なにかしらのスキルアップしていくことが重要だと感じています。私自身、母の介護や子供の学校の問題に直面し、家庭と仕事のバランスに苦労しましたが、両方を諦めたくないという思いから、新しい働き方を模索しました。皆さんにも、仕事と家庭の両立のために起業を選択肢の一つとして考えていただきたいと思います。

**黒澤**：私も以前はフルタイムの仕事を続けながら家事や育児をこなし、残業やダブルワークによって睡眠不足と疲労が蓄積した経験があります。この経験から自分のやりたいことに時間を使うことの重要性を実感しました。みなさんには、まず副業から始め、自分の可能性を試してみることをお勧めします。

**高橋**：お二人の実体験に基づく力強いメッセージに感謝します。密山さん、山口さんからもコメントをお願いできますか？

**密山**：視聴者の皆さんは、お金やスキルについて不安を感じているかもしれませんが、それは思い込み過ぎないことが多いです。好きなことを実践し収益を得る方法はありますので、皆さんには、自分自身を発見し、夢を見つけ、仲間と共に実現していただきたいと思っています。

**山口**：皆さんには、まずは「未来ワークショップ」に参加していただきたいです。そこで他人のフィードバックを受けることで、起業する勇気を持つきっかけになると感じています。私のグループでは、小さな一歩からでも始めることを推奨しています。まずは副業から始めることも良い方法だと思っています。小さな一歩でも、スタートして良かったと感じていただける女性が増えることを願っています。

**高橋**：グラミン日本では首都圏だけでなく日本全国の皆さんに融資が実行できるよう体制を構築しています。2022年には仙台支部を設立し、また仙台以外でも地元企業や団体と協力しています。ぜひ、地方の方もまずはワークショップへのご参加をお願いします。本日は中村さん、黒澤さん、ご出演ありがとうございました。

## 誰もがいきいきと活躍する持続可能な社会に向けて私たちは、歩み続けます。

### グラミン日本とは

先進国には貧困国とは異なる「相対的貧困」の問題があります。日本の相対的貧困率はG7のなかで米国に続いて2番目に高い水準にあり、特にシングルマザーや非正規労働の女性たちなどが経済的に厳しい状況に置かれています。グラミン銀行の日本版として2018年に設立されたグラミン日本は、バングラデシュをはじめ世界各国で蓄積されたマイクロファイナンス事業の知見を活かし、豊かな国にふさわしいアプローチで日本の貧困問題を解決するために挑戦を続けています。



## 私たちが「目指す社会」

- 1 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット・ソフトインフラとして整備されている社会
- 2 生業的な起業(プチ起業・小商い)が普通にできる社会
- 3 Job Seeker(仕事を探す人)より、Job Creator(仕事を創造する人)が活躍できる社会
- 4 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- 5 ユネス・ソーシャルビジネス7原則が実践される社会
- 6 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

## ユネス・ソーシャルビジネス7原則

- 1.利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること
- 2.財務的に持続可能であること
- 3.投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと
- 4.投資額以上の利益は、ソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと
- 5.環境へ配慮すること
- 6.スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること
- 7.楽しみながら仕事をする

グラミン銀行はムハマド・ユヌス博士により、1983年にバングラデシュで設立されました。貧困層を対象に5人一組の互助グループを形成し、低利・無担保で融資するマイクロファイナンス事業を展開。借り手のほとんどは女性で、融資金を元手にスモールビジネスを起こし、経済的自立を目指します。2006年、ユヌス博士とグラミン銀行は、貧困削減に寄与した功績によってノーベル平和賞を受賞しました。



## グラミン日本のあゆみ

- |  |  |  |   |   |
|--|--|--|---|---|
| <p><b>2018年</b><br/>9月 一般社団法人<br/>グラミン日本設立、事業開始</p> <p><b>2019年</b><br/>12月 グラミン日本の5人組第1号<br/>が形成、融資スタート</p> | <p><b>4月</b> 新型コロナウイルス防止のため、<br/>イベントやミーティング等を<br/>オンライン化</p> <p><b>11月</b> みんな電力(現updater)との<br/>協業で電力プラン「グラミン<br/>でんき」開始</p> | <p><b>2月</b> コロナ禍で困窮する若者へ就労支援を提供する事業<br/>を募集する助成プログラム「キャッシュフォーワーク<br/>2020」第2期助成団体として採択決定</p> <p><b>5月</b> デジタルスキルに特化したシングルマザー就労支援<br/>プログラムを開始</p> <p><b>8月</b> SAPジャパン、MAIAと共に「でじたる女子」プログラ<br/>ムの提供を開始</p> | <p><b>2月</b> 2021年度休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に初の採択決定</p> <p><b>6月</b> 愛媛県と「でじたる女子活躍推進コンソーシアム」が連携協定を締結</p> <p><b>8月</b> グラミン日本・仙台支部を設立</p> <p><b>9月</b> 鹿児島県と「でじたる女子活躍推進コンソーシアム」が連携協<br/>定を締結</p> <p><b>9月</b> 米国NCR財団より助成決定</p> | <p><b>3月</b> 奈良県と「でじたる女子活躍推進コンソーシアム」が連携協定を締結</p> <p><b>3月</b> チャリティ・エイド財団グループの国際認定証を取得</p> <p><b>6月</b> 2022年度活動報告会をオンラインで開催</p> <p><b>8月</b> 株式会社Qvouとシングルマザーの自立支援を促進する共同<br/>プロジェクトを発足</p> <p><b>9月</b> 2023年度休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に採択決定</p> |
|--|--|--|---|---|

2018・2019

2020

2021

2022

2023

# グラミン日本だからできる、エンパワーメントがあります。

## 支援モデル 1 マイクロファイナンス (小口融資)

生活困窮状態や生活困窮リスクがある方々を対象に、低利・無担保で少額の融資を行い、起業や就労による自立を支援します。

### グラミン日本のマイクロファイナンスの特徴

<p><b>【コミュニティ】</b> 一緒にがんばる仲間</p> <p>未来への想い・働く意欲を持った5人組の互助グループをつくり、起業や就労に向けた行動を後押しします。1人で進むより、多くの学びと勇気が得られます。</p>	<p><b>【金融支援】</b> 条件は、働く意欲</p> <p>満20歳以上、毎月2回のセンターミーティングへの参加が可能なことなど、条件をクリアした方に低金利・無担保、保証人不要の融資を開始します。</p>
<p><b>【育成】</b> 稼ぐ力を身につける、無料のオンラインワークショップ</p> <p>自立したいけれど、どこから始めればいいのかわからない。そんな方を対象に、体験型ワークショップ「ミライWorkshop」を月に3~4回開催しています。自分を見つめ、目標を掲げ、就労・起業を目指します。</p>	<p><b>【センターミーティング】</b> 継続的なフォローアップ</p> <p>月2回、5人組のグループが顔を合わせるミーティング。グラミン日本のセンターマネージャーとともに、借入金の返済状況や事業の進み具合を確認し、悩みを相談し合い、解決策やアイデアを共有します。</p>

### 3つのステップで起業を実現するミライWorkShop

<p><b>STEP 0 / 自身について知る</b></p> <p>「人生曲線」や「家計シミュレーション」などのワークを通し、自分自身が大切にしている価値観や信念を知り、将来こうなりたいと思う自分の姿や実現させたいことをクリアにします。</p>	<p><b>STEP 1 / 起業アイデアを形に</b></p> <p>顧客ターゲットの設定や資金計画の設計など、どんな事業にも必要な要素を明確化して、起業アイデアを「実際にインパクトを生み出す事業」の形に変えていきます。</p>	<p><b>STEP 2 / 開業プランをつくる</b></p> <p>開業に向けて必要な手続きの確認や、スケジュール作成を行い、明日にでも動き出せる準備をします。また、互いの事業計画を共有し、夢の実現に向けて支え合う仲間を見つけてグループを形成し、融資に向けた準備を進めます。</p>	<p>事業計画書の作成</p>
---	---	---	-----------------

## 支援モデル 2 デジタル就労支援プログラム

企業・団体・自治体などの多様なパートナーと一緒に、未来に向けて一歩を踏み出したい方々へ、就労支援プログラムを提供しています。

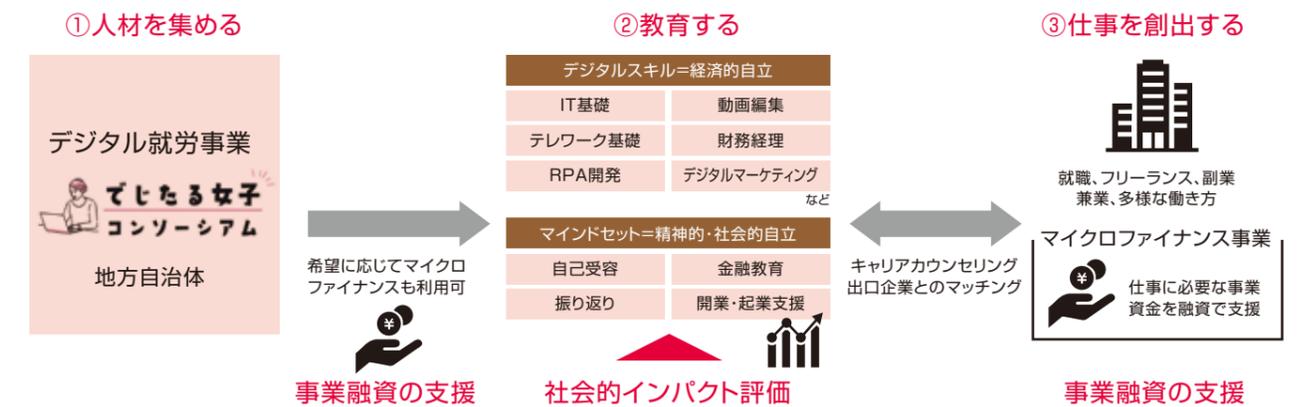


### 「でじたる女子プロジェクト」について 詳細はこちら

でじたる女子 検索

2022年度からは、SAPジャパン、MAIAとデジタル技術を活用できる女性人材の募集から育成・教育および就労支援を一貫して行う連携組織「でじたる女子活躍推進コンソーシアム」を発足し、各地方自治体と連携をスタートさせました。

地方に在住しているシングルマザーを中心とした女性に対して、デジタルスキル研修の提供だけでなく、就労に向けた意識を切り替えるマインドセット研修や経済的自立を目指すための金融リテラシー向上プログラム、または一部の自治体では研修への伴走支援、就労に向けたキャリアカウンセリング、職務経歴書・面談指導、登録企業への就労支援まで、入り口から出口まで一貫した就労支援プログラムとなっています。



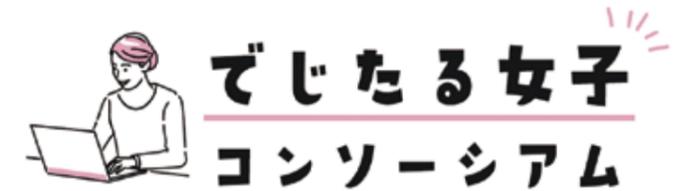
シングルマザーが将来に夢や希望を抱いて生活するためには、安定的な収入が欠かせません。人材ニーズが高く、時間や場所にとらわれない働き方が可能なデジタル分野を中心に、就労支援に取り組んでいます。

### 2022年度 支援実績

<p>融資金額 (累計)</p> <p><b>1,298</b>万円</p>	<p>マイクロファイナンス 融資実行件数 (累計)</p> <p><b>62</b>件</p>
--	---

## 日本全国に広がるグラミン日本の活動

2023年度は支援活動が日本全国に広がり始めた年となりました。活動の一部をご紹介します。



### グラミン日本仙台支部の立ち上げ

2022年8月に初の支部として「仙台支部」を立ち上げ、2023年度から本格的に活動を開始しました。仙台地域に在住するシングルマザーのリスキル・就業支援を開始して、将来的には東北各県へ支援拡大を目指してまいります。

#### 支部長:羽山 暁子



仙台地域は、首都圏よりも色濃いジェンダーバイアスが存在し、幼少期から無意識に刷り込まれたジェンダーロールの影響で、社会でのチャレンジと成長の機会が制約されている女性が数多く存在しています。そんな女性たちの就業率向上と、社会の一員として決定プロセスに参画する女性が増えることを目標に支援活動を推進しています。

#### メンバー



若松英洋 (事務局長)



加賀谷成美



出水彩子



齋藤由貴

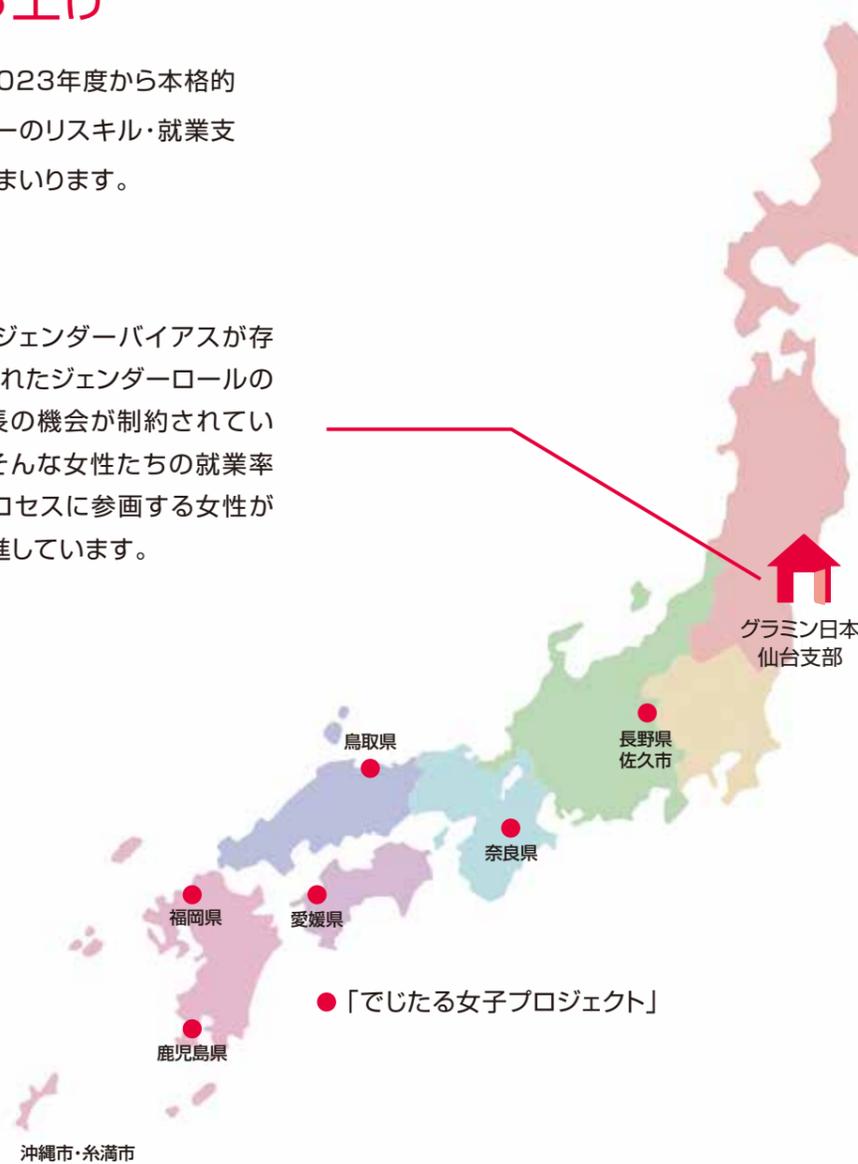


赤木弘喜



菅野奈津子

仙台支部のメンバーはそれぞれ本業と兼任でグラミンの活動に携わっています。グラミン日本の理念に共感し、忙しい合間を縫ってそれぞれができることに取り組み仙台支部の活動を少しでも広げようと日々奮闘しています。



### 地方自治体と連携して グラミン日本の独自研修をスタート

グラミン日本は現在、各地方自治体が展開している地方在住シングルマザーを中心とした女性を対象にしたリスキリングプログラム「でじたる女子プロジェクト」に独自の研修プログラムを提供しています。

グラミン独自研修は、シングルマザーの皆さんがデジタルスキル研修を受講する前に、何のために研修を受けるのか、自分の将来設計をどうするのか、などを考え研修をやりきるための ①マインドセット ②金融トレーニングから構成されています。これまでマイクロファイナンスで培ってきたノウハウを活かした研修プログラムとなっており、受講生の方や地方自治体の担当者様から高評価をいただいています。

現在連携している  
地方自治体

- ①長野県佐久市 ②奈良県
- ③鳥取県 ④愛媛県 ⑤福岡県 ⑥鹿児島県
- ⑦沖縄県沖縄市 ⑧沖縄県糸満市

#### 長野県佐久市でのグラミン日本研修の様子



#### 「研修担当者からのコメント」

佐久市は軽井沢のすぐ隣という地の利のため、受講生も地場の方と移住者と半々くらいの構成でした。研修の最初は皆さん不安そうな表情でしたが、皆さん共通して抱えている課題は同じ。市内に仕事先が少ないため、しんどい仕事でも簡単に転職することができなかつたり、お母さんは育児と家事という役割分担意識が強い環境にいること。とても苦しそうに我慢している方が多い印象でした。



人生曲線(マインドセットプログラムのパート)が終わったくらいから「こんな短時間でいろんな人の人生を語り合うことができるなんて今日ここにきて本当に良かった～」という声何人からも上がってきていて、目をキラキラさせながら傾聴と共感を繰り返していました。

長野県佐久市が展開する  
デジタル人材育成・就労支援プロジェクト  
「Cosmosta+(コスモスタプラス)」での  
グラミン研修の様子(9月16日)

## 休眠預金等活用事業の進捗報告

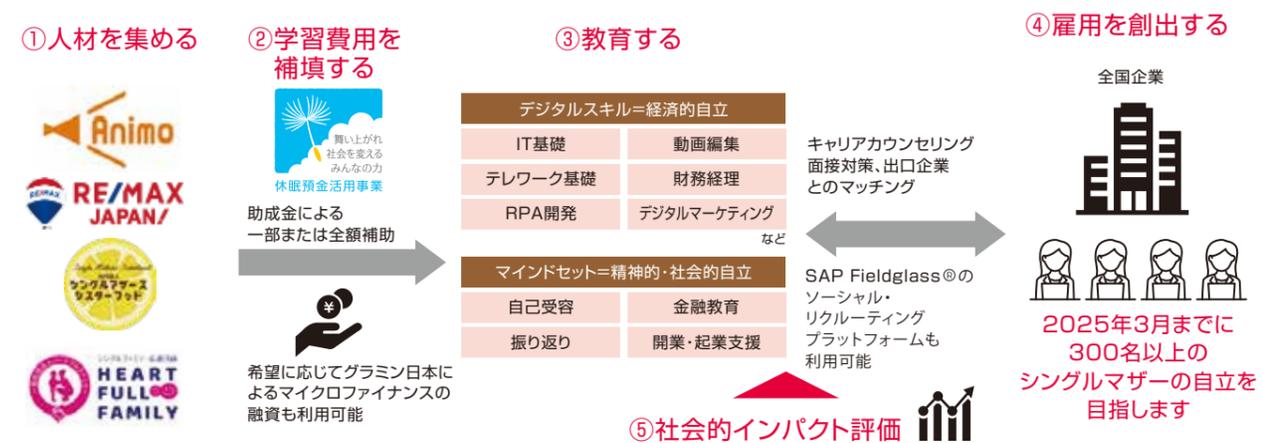
グラミン日本は、休眠預金等活用事業の実行団体、資金分配団体として採択を受け、未来のために一歩を踏み出したい方々に対して様々な就労支援プログラムを提供しています。

### 「休眠預金等活用事業」とは？

休眠預金等活用法に基づき、10年以上取引がない預金等(休眠預金)を社会課題のお解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が始まりました。グラミン日本は資金分配団体として採択され、「シングルマザーのデジタル就労支援」事業を実施しています。

### 「2021年度事業概要」

2021年度採択の資金分配団体事業では、リスクのある一都三県のシングルマザーのデジタル就労支援に従事する実行団体を選定し、資金支援および非資金的支援を行うことで、シングルマザーの精神的・経済的な自立を目指します。今年度は、4つの実行団体が本格的に支援事業を開始しました。



## 4実行団体の紹介と事業進捗

**Animo Plus株式会社**  
URL <https://animo-plus.co.jp/>

【事業内容】  
幅広い学習プログラムを提供し、受講者が相互に支えあいながら就労に繋げていく仕組みにより経済的自立を支援

【代表者からのコメント】  
本事業では、「学びたい」という意欲のあるシングルマザーに向けて、ITスキルの「学びあい」の場を創出し、シングルマザーが抱えがちな孤立感にアプローチする「支えあい」の視点を大切に、参加者の互助組織をつくってまいりました。また、「学びあい」の参加者には初期段階から定期的にキャリアコンサルティングや、ビジネスマ



ナー研修やマインドセット研修など、きめ細やかな伴走支援を実施しております。「学びあい」を卒業した参加者は、現在BPOの業務に取り組みられています。社会と関わり、収入を得られる人材を増やすことで、シングルマザーの貧困と孤立の解決に取り組めます。

**株式会社IKEZOE TRUST (RE/MAX JAPAN)**  
URL <https://remax-japan.jp/>

【事業内容】  
デジタルスキル習得による不動産業への就労、起業支援  
不動産エージェンツとして稼働するまでを段階的にサポート

【代表者からのコメント】  
オンライン講座と毎月の1on1に加えて、任意参加のオンライン座談会やオフ会、宅建勉強会を開催。同じ環境下の受講生同士の交流がモチベーションの維持や向上に繋がっていました。講座終了後は副業で副収入、宅建受験、不動産エージェンツにチャレンジ、不動産会社へ就職を目指すなど、学びの生かし方は人それぞれですが、共通するのは、未来を良くするために何かし

ら行動を始めたこと。  
忙しい中新しいことにチャレンジするには勇気が必要ですが、その一歩が大切で、このプロジェクトがそのきっかけになったと、頂いた言葉は、私たちの励みになっています。  
『ママが輝くと、子どもの未来が輝く』をテーマに、頑張るお母さんを応援していきます。



**NPO法人シングルマザーズシスターフッド**  
URL <https://www.singlemomssisterhood.org/>

【事業内容】  
支援につながりにくい若年シングルマザーに向けた、ITを活用した総合的トレーニングとピアサポートプログラムの実践

【代表者からのコメント】  
シングルマザーが「自分らしくはたらく」ことを実現するために、基礎的なデジタルスキル、コミュニケーション、マネーリテラシーなどのライフスキルを身につけ、その過程で自分を振り返り、未来のキャリアを前向きに描く機会を提供しています。これまでの受講生の多くが「シングルマザーだから」という理由で諦めていたことを、プログラム期間を経て今では自分の可能性と

未来を信じ、目標に向かって一歩ずつ前に進んでいます。  
今回、グラミン日本様からのサポートを受け、とりわけ支援につながりにくい10~30代の若年層の母親たちに支援を届けることができます。彼女たちが本来の力を発揮してより良い未来を切り拓けるよう支援を続けたいと思います。



**一般社団法人ハートフルファミリー**  
URL <https://hartfullbank.com/>

【事業内容】  
共感伴走、スキル習得、就労・起業機会の獲得等を通じ、個々人のメンタルの変化・成長を伴いながら経済的に自立することを支援する

【代表者からのコメント】  
期間を決め、新しいことに取り組み、月収を上げる。「シングルファミリー555日のチャレンジプロジェクト」では、この3つを決意した志の高いシングルマザーが各人の目標に向かって日々取り組んでいます。  
仕事、育児、お金、人間関係、自分の人生…悩みや事情は人それぞれ。決まりきった正解ありません。

自分と家族のために前に進もうとしている人同士のポジティブなエネルギーを大切に、一緒に走ったり、一緒に止まったり、一緒に考えたり、1人1人の心に寄り添いながら、555日を完走できるようにサポートしています。収入をあげるといった具体的な目標を達成するための行動や思考、習慣が自信に変化し、さらなるマインドが高まる転換となります。



## グラミン日本だからできる、 エンパワーメントがあります。

望月 愛巳



望月愛巳さんは、フルタイムで働きながら小学生の娘さんと生活しているシングルマザー。週末には、自宅で子供たちに英語を教えています。もともとは、自身の留学経験とママ友からの後押しで始めた英語教室ですが、教わる子供たちが増えるにつれ、ビジネスに発展する可能性を感じ、起業を考えるようになりました。

子どもに英語を教える中で、『英語を学ぶには目的を設定することが大切。だから、子供たちに夢や目標を伝えるためにMIRAI Mapを使ったワークを行いたい』と考えるようになりました。

MIRAI Map®とは  
MIRAI Map (未来マップ)授業とは、「夢」を原点として考えたとき、社会はどう再構築されるだろう?』という問いを持ちながら、2030年の「地球の声」を聴いて、未来の「夢」を描きます。  
<https://happiness.123-coach.com/mirai-map>

望月さんは、養成講座に参加するにはお金や時間がかかる上、起業するためには「覚悟」や「金融知識」が必要だと躊躇していました。そこで、シングルマザー支援協会からグラミン日本の案内が流



れてきたことをきっかけに、「ミライWorkShop」に参加することになりました。

ミライWorkShopとは、稼ぐ力を身につけ、就労／起業を目指す無料のワークショップ。全3ステップを修了すれば、起業資金の融資を受ける道が開かれるため、望月さんにはぴったりでした。

実は望月さんには、過去にシングルマザー支援のイベントで「シングルマザーはかわいそうな人」と扱われた経験があり、それに奮起する気持ちもあって、少しずつ収入アップを重ねてきました。しかし、さすがに起業したいという覚悟はまだ持てずにいたところ、ミライWorkShopで出会った同じシングルマザーの仲間たちから支えを得ることで、自分も頑張っていこう、と思えたと言います。

現在は、グラミン日本からの融資を受けて、英語教室の教材やMIRAI Map®の受講料に充てて、より質の高い学びを子供たちに提供する準備をしています。

彼女は「グラミン日本では、挑戦すると決めたらそれを支えてくれるプロの方々や仲間がいて、歩を進めるための環境が用意されています。」と話しています。

そして「起業を目指して誰かに手伝ってほしいと思う時に、何の利害関係もない新しい出会いがあること」をありがたいと感じているそうです。彼女は夢を追い、仲間と一緒に精力的に活動の場を広げています。



## 「今度は支援する側に」

～仕事と子育て、  
そして地域貢献活動を全て叶えるのは、  
友人とのシェアハウス～

新川 瑠美

沖縄県の中でもとくに女性の力が強いと言われている宮古島。宮古島の小さなコミュニティの恵みを受けながら、6歳の息子さんと暮らす新川瑠美さん。

なんと最近、本業の傍ら、子ども食堂にも挑戦しているとのこと。バイタリティ溢れる熱い女性かと思いきや、ゆっくり丁寧にお話する、どちらかという涼しげな印象を与える女性でした。グラミン日本との出会い、そしてその後の人生についてお伺いしました。

新川さんは3年前に離婚を経験し、今後の仕事を探していました。その過程で、シングルマザーを支援する団体の講座に参加し始め、やがてグラミン日本と「でじたる女子プロジェクト」に出会ったのです。最初の応募では、残念ながら落選。しかし、諦めず前向きに挑戦した結果、2022年10月になってようやく「でじたる女子プロジェクト」への参加の機会を得ました。このプロジェクトの中で、専門的な技術を学びながら、5～6人のチームでミーティングを重ねていきました。

新川さんにとって最も楽しかったことは、週1回のミーティングでした。「雑談の中でも、みんながどんなふう工夫をしているかを聞いて、同じように頑張ろうと思いました」。一人で勉強するのはつまらなくても、仲間に刺激をもらいながら、楽しく進めることができたそうです。

でじたる女子プロジェクトを経て、彼女自信が一

番変わったと思えたのは「最後まで物事を成し遂げる自信」を得たことでした。これまでもセミナーや勉強に取り組んできましたが、時間の制約や挫折感から、完遂できなかったことが多かったそうです。しかし今回は、不安な気持ちもありましたが、仲間やサポーターの助けを得て、最終的には試験に合格し、仕事を得ることができました。

新川さんはグラミン日本のワークショップで得た自信を胸に、現在は外資系企業からプロジェクト進捗のサポート業務を受託し、週3で在宅勤務をしながら、以前から続けていたエステシヤンの仕事も週3で続けています。これにより時間に余裕ができ、彼女は以前から興味を持っていた『子ども食堂』に挑戦することができました。

新川さんの活動を支える大きな要因は、友人のシングルマザーとの共同生活です。2家族でシェアハウスすることで、勉強時間には友人が子どもの面倒を見てくれます。この新しいライフスタイルと友人のサポートによって、新川さんはさらに活動を広げています。

「今までたくさんの人に支援してもらったから、これからは私が支援する側に立ちたい」  
宮古島で助け合いの精神を学びながら、さらに支援の活躍を広げていきたいと意気込む新川さん。新川さんの挑戦はまだ始まったばかりです。

## SDGsアクションを、私たちとともに



グラミン日本は「日本の貧困」という社会課題に取り組んでいます。  
貧困の連鎖を断ち切り、持続可能な社会を子どもたちに引き継ぎます。



### グラミン日本では「資金のご支援」「雇用機会の提供」「ソーシャルビジネス共創」、3つのかたちで企業のみなさまとの連携を進め、女性の経済的自立を目指しています。

**資金のご支援:** 賛助会員としての会費、ご寄付をいただき、グラミン日本の活動に協力いただくパートナーシップです。

**雇用機会の提供:** グラミン日本が支援する多様な人材に、労働機会をご提供いただくパートナーシップです。

**ソーシャルビジネス共創:** グラミン日本と連携し、ビジネスによる社会課題解決を目指すパートナーシップです。



## パートナーとの共創事例

### 雇用機会の提供

一時的な支援ではなく、「自ら稼ぐ力をつける」ための支援が、女性の経済的自立には不可欠です。そのためにグラミン日本は、エンプロイアビリティ（雇用される能力）の向上を図っています。そして、パートナー企業のみなさまには、求められるスキルを獲得した女性たちに雇用機会をご提供いただいています。

10 ページで紹介している「でじたる女子」プロジェクトでは、RPA 開発、SAP テスト、デジタルマーケティングなど、ニーズが高まるデジタルスキルを修得した女性たちと、人材不足を課題とする企業とのマッチングを実現しています。みなさまの雇用ニーズをお聞かせください。ダイバーシティ経営実現に向けて、多様な人材をご紹介します。

### ソーシャルビジネス共創 株式会社UPDATER

あらゆるモノの「顔の見える化」で社会のアップデートを目指す株式会社 UPDATER 様と、グラミン日本は、2021 年 9 月より共同プロジェクト「グラミンでんき」を展開しています。

「グラミンでんき」の契約者が支払う電気料金のうち毎月 100 円を、グラミン日本に寄付いただきます。また、グラミン日本が支援するメンバーが、UPDATER が提供する「みんな電力」を契約した場合、1 年間の電気料金を同社にご負担いただきます。これにより女性たちは、電気代の心配をせずに、経済的自立に向けたチャレンジに取り組むことができます。



### グラミン日本の活動にご関心ある企業の皆様はこちらから。



法人向けサイト

2023年9月末 現在

資金や資産の提供によるパートナーシップ



起業や就労の支援によるパートナーシップ



人材の提供によるパート



Qvou が解決したい社会課題、  
 グラミン日本との出会い、  
 シングルマザーの方々への想い



株式会社 Qvou 代表取締役 久保 龍太郎

弊社は従業員数50名未満、その内総合職は10名程ですが、前年度売上は120億円を計上いたしました。弊社の従業員の9割が女性です。弊社の主力事業のひとつである霧島天然水「のむシリカ」事業では、お客様のニーズを的確に捉え、かつご購入後のサポートサービスを担う人員として、コールセンター業務が非常に重要な役割を担っています。例えば解約を御希望のお客様の御要望を伺い、その結果として契約御継続となる場合、契約の獲得と同等の価値があります。このように高いコミュニケーション能力を発揮して活躍されている多くの女性が、弊社の事業を支えていると言っても過言ではありません。

しかしながら、日本全体で考えた場合、御結婚、御出産等の人生の転機により、やむを得ず退職を選択する方が少なからずいらっしゃいますが、その方々が一定の期間を経て復職を考えた際、企業側がその期間を「消費者としての成熟期間」と捉えるのではなく、単なるブランクとしてマイナスに捉えることにより、復職を願う方々の能力を存分に発揮できる環境ではなく、ともすれば不本意な待遇、あるいは環境で働くことを選択せざるを得ない現状があるのではないのでしょうか。弊社は特にコールセンター業務をシステム化し、御自宅で時間資産を

有効活用して働いていただけるようリモートワーク環境を準備することで、通勤ストレスを軽減し、多くの女性が能力を生かし、待遇面においても良好な環境でイキイキと働ける場を創出することに注力しております。

グラミン日本の活動には、以前から注目をしておりました。「誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会」というグラミン日本のビジョンが、まさに弊社の目指す方向性と一致しているからです。弊社顧問を通じて百野理事長にお目にかかり最新の活動状況を伺い、加えて中川理事に前職でコールセンター業務のシステム化に従事されていた御経験並びに現在グラミン日本が取り組むシングルマザー支援の拡充施策について伺ったことが、賛助会員として参画させていただく契機となりました。

弊社での活躍のフィールドは、前述した総合職、リモートワーク環境下のコールセンター業務だけではありません。ヘッドスパ「Kuu」事業、タイ古式マッサージ「SORA」事業を多店舗展開しており、多くの女性が活躍し、今後も必要とされています。グラミン日本との共創により、誰もがいきいきと輝ける社会へつなげるべく、弊社及びグループ企業が丸となり、貢献してまいりたいと思っております。



## その先にいる、 子どもたちの「笑顔」のために

マイクロファイナンス事業部 **山口 学**さん

私はSMBC日興証券(株)名古屋支店のプライベート・バンキング部で、内部管理業務を行っています。当社には、業務時間の最大20%までを社会貢献活動に使う「プロボノワーク」という制度があり、3年前にこの制度の公募に手を挙げたことからグラミン日本との関わりが始まりました。現在はプチ起業支援のミライWorkShopの運営、連携先支援団体の開拓、就労支援のための業務受託

先、就労先となる企業の開拓など、複数の業務を担当しています。さらに今後は、5人組の伴走支援者であるセンターマネージャーを目指し、グラミンメンバーの経済的、精神的、社会的な自立、そして、その先にいる子供たちの笑顔のために全力でお手伝いしたいと思っています。彼女たちの目が、自分自身の夢の実現に向けて、強く輝く日が来ることを、願ってやみません。



## 私の強みを活かした支援

助成金事業チーム **前川 典子**さん

私は休眠預金事業のプログラムコーディネーターをしています。グラミン日本で働くのは週20時間で、残りの時間でシングルマザーの就労支援を個人で請け負ったり、社会福祉士の資格取得を目指して、大学や施設での実習に通うという生活です。プログラムコーディネーターは、実際にシングルマザーを支援している実行団体の方を、裏方としてサポートする仕事。そのため、実行団体の方の信頼を得て「グラミン日本の伴走支援のおかげで、より多くの

シングルマザーの方へ支援ができる」と感じて頂きたいです。シングルマザーの生活が著しくハードモードなのは、決して自己責任ではなく社会の構造的な問題で、私もその社会の中の女性のひとり。同じ想いを持った方が様々な業界やセクター、性別、年齢の壁を越えて活動されている場所で、私は私の強みを活かして支援ができればという思いを持って入職しました。

団体名 一般社団法人 グラミン日本  
所在地 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-7 東信室町ビル4階  
電話番号 03-3516-2890  
登録番号 東京都知事(T2)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号  
HP <https://grameen.jp/>

名誉会長	ムハマド・ユヌス博士	顧問	岩下 千草
創設者	菅 正広		宇佐美 潤祐
理事長・CEO	百野 公裕		太田 智
理事・COO	中川 理恵		金 辰泰
理事	シェーファー・平ダーヴィッド		児玉 都
	白瀧 征人		根本 剛史
	高橋 歌織		羽生田 慶介
	小林 立明		東出 忠昌
	近藤 康裕		三上 幸司
	大倉 然		望月 利昭
監事	木村 道哉		
	兒玉 久実		

### [アドバイザーボード]

青井 浩	株式会社丸井グループ 代表取締役社長	鈴木 桂治	全日本柔道男子監督
入江 のぶこ	東京都議会議員	月田 有香	株式会社MAIA 代表取締役
内田 士郎	株式会社コミュニティーメッシュ 代表取締役会長	中内 綾	一般社団法人アフリカ協会 理事
江成 道子	一般社団法人日本シングルマザー支援協会 代表理事	中村 誠司	Team Energy株式会社 代表取締役
大石 英司	株式会社UPDATER 代表取締役社長	丹羽 恵久	ポストン・コンサルティング・グループ Managing Director & Partner
大我 猛	boost technologies株式会社 取締役COO	原 丈人	アライアンス・フォーラム代表理事、 デフタパートナーズグループ会長
小原 壮太郎	一般社団法人the Organic 代表理事	平野 啓一郎	芥川賞作家
影山 泰仁	ケイジーコンサルティング株式会社 代表取締役	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
加藤 智康	三井不動産株式会社 常務執行役員	藤田 英明	株式会社アニスピホールディングス 代表取締役社長
神 永 晋	住友精密工業株式会社 元代表取締役社長	古村 伸宏	日本労働者協同組合(ワーカーズコープ) 連合会 理事長
橋田 大輔	ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 代表取締役	M I N M I	シンガーソングライター
塩田 真弓	株式会社テレビ東京 報道キャスター・記者	安井 正樹	PwCコンサルティング合同会社 パートナー、 一般財団法人PwC財団 代表理事
島田 圭子	ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ・ ジャパン・インク マネージング・ディレクター	安田クリスティーナ	国際NGO InternetBar.org ディレクター
鈴木 敦子	NPO法人ETIC. Co-Funder / シニアコーディネーター		

貸借対照表

2023年9月30日現在

(単位:円、税抜)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	19,454,914	16,058,434	3,396,480
未収入金	326,384	152,720	173,664
売掛金	330,000	160,899	169,101
前払費用	286,319	328,160	-41,841
立替金	115,602	-	115,602
短期貸付金	1,586,440	3,083,706	-1,497,266
貸倒引当金繰入	-	-168,158	168,158
流動資産合計	15,973,416	18,217,035	-2,243,619
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
助成金	48,341,953	46,267,614	2,074,339
特定資産合計	48,341,953	46,267,614	2,074,339
(2) その他の固定資産			
一括償却資産	-	-	-
敷金	1,200,000	1,200,000	-
長期前払費用	7,458	18,472	-11,014
その他固定資産合計	1,207,458	1,218,472	-11,014
固定資産合計	49,549,411	47,486,086	2,063,325
資産合計	71,649,070	67,101,847	4,547,223
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	690,633	277,970	412,663
未払費用	2,374,707	1,025,338	1,349,369
未払給与	1,475,548	1,908,665	-433,117
未払消費税等	-	29,400	-29,400
未払法人税等	88,000	70,000	18,000
預り金	956,344	436,973	519,371
流動負債合計	5,585,232	3,748,346	1,836,886
負債合計	5,585,232	3,748,346	1,836,886
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 基金	16,020,000	16,020,000	-
2. 指定正味財産	48,341,953	46,267,614	2,074,339
(うち特定資産への充当額)	-71,127,827	-30,463,304	-40,664,523
3. 一般正味財産	1,701,885	1,065,887	635,998
正味財産合計	66,063,838	63,353,501	2,710,337
負債及び正味財産合計	71,649,070	67,101,847	4,547,223

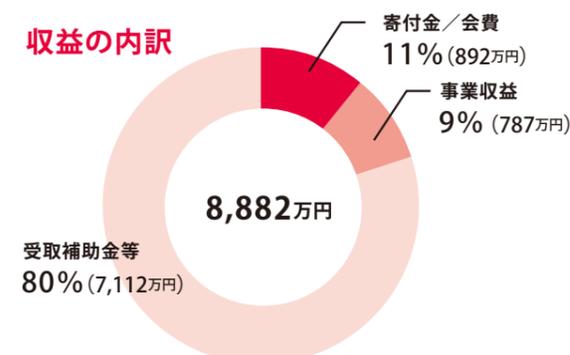
正味財産変動計算書

2022年10月1日から2023年9月30日まで

(単位:円、税抜)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	88,825,779	37,437,763	51,388,016
受取会費	5,897,000	2,972,000	2,925,000
事業収益	7,871,817	500,632	7,371,185
受取寄付金	3,928,985	3,501,665	427,320
受取補助金等	71,127,827	30,463,304	40,664,523
雑収益	150	162	-12
(2) 経常費用	88,444,027	34,534,673	53,909,354
事業費用	13,336,141	5,920,278	7,415,863
管理費用	75,107,886	28,614,395	46,493,491
当期経常増減額	381,752	2,903,090	-2,521,338
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	342,260	9,689	332,571
雑収益	174,102	9,689	164,413
貸倒引当金戻入額	168,158	-	168,158
(2) 経常外費用	88,014	1,587,204	-1,499,190
法人税、住民税及び事業税	88,014	70,014	18,000
雑損失	-	1,517,190	-1,517,190
当期経常外増減額	254,246	-1,577,515	1,831,761
当期一般正味財産増減額	365,998	1,325,575	-689,577
一般正味財産期首残高	1,065,887	-259,688	1,325,575
一般正味財産期末残高	1,701,885	1,065,887	635,998
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
受取助成金	73,202,166	58,315,000	14,887,166
一般正味財産への振替額(助成金等)	-71,127,827	-30,463,304	-40,664,523
当期指定正味財産増減額	2,074,339	27,851,696	-25,777,357
指定正味財産期首残高	46,267,614	18,415,918	27,851,696
指定正味財産期末残高	48,341,953	46,267,614	2,074,339
<b>III. 基金増減の部</b>			
基金期首残高	16,020,000	16,020,000	-
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	-
<b>IV. 正味財産期末残高</b>	66,063,838	63,353,501	2,710,337

収益の内訳



費用の内訳

